

# 学びを支える

## 私立高等専修学校での教育を充実させます

県内には、不登校経験者や発達障害(疑い含む)のある生徒、全日制高校中退者など、高等学校では自分に適した教育環境に恵まれなかった生徒たちを受け入れ、高等学校と同等の教育を行っている私立高等専修学校があります。

県では、こうした私立高等専修学校における教育の充実を図るため、発達障害(疑い含む)のある生徒の学習支援を行う特別支援教育支援員の配置にかかる費用を補助します。



支援員は、生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、得意分野の能力を高めながら、生活や学習上の困難を改善し、克服するための支援を行います。

将来の夢を実現するため、私立高等専修学校に進んだ生徒が、安心して教育を受けられる環境をつくっていきます。

●発達障害とは、自閉症やアスペルガー症候群等の広汎性発達障害、ADHD(注意欠陥多動性障害)、LD(学習障害)などの脳機能障害のことです。

## 部活動指導員の制度を活用します

近年、教員の多忙さが指摘されており、その要因の一つに部活動の負担が大きくなっていることがあげられています。

こうした部活動の顧問をしている教員の負担軽減を図るため、外部の人材に部活動の指導を担ってもらう取り組みを始めています。



部活動指導員は、単独での指導や大会等への引率を行うことができるため、教員の負担を軽減するとともに、より高いレベルの練習をしたい生徒のニーズにも対応することができるようになります。

この制度を活用・検証することによって、教員の負担を軽くし、授業の準備や子どもと向き合う時間を確保できるよう取り組んでいきます。

●部活動指導員とは、学校の教育計画に基づき行われる部活動において、校長の監督を受け、部活動顧問として技術的な指導や大会等への生徒の引率業務等を単独で行うことができる人のことです。

# 2019 さが総文

創造の羽を広げ、蒼天へ舞え  
バルーンのように

(大会テーマ) - 創造の羽を広げ、蒼天へ舞え バルーンのように -



大会マスコットキャラクター  
あさぎちゃん

## 第43回全国高等学校総合文化祭の開催に向けて

第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文)が、来年7月27日から8月1日までの6日間、佐賀県で開催されます。

文化部活動に取り組んでいる高校生が全国から一堂に会するこの祭典では、美術・工芸や書道、演劇など23部門のステージ発表や作品展示等が行われます。

大会の企画や運営は、高校生自身が担うため、県内から募った生徒による「生徒実行委員会」が立ち上げられました。参加者や来訪者へのおもてなしをはじめ、各部門大会の開催準備などを進めながら、佐賀の魅力発信を行います。



△生徒実行委員会の会議



△2019さが総文 500日前イベント

宮城大会  
パレードに参加  
しました!



△全国高校総合文化祭総合開会式  
(第41回宮城県大会の様子)



今年も、県総合文化祭を兼ねてプレ大会を開催します。県内各地での部門大会をはじめ、8月3日にパレードと国際交流コンサートを、10月14日に総合開会式を開催する予定です。

高校生の力を結集し、2019さが総文に向けて盛り上げていきます。

詳しくは

学校教育課 全国高総文祭推進室 ☎0952-25-7584・0952-25-7462 ✉sagasoubun@pref.saga.lg.jp  
https://sagasoubun.jp/ 2019さが総文 🔍

